

神戸学院大学 中期行動計画 実行計画(第4層) 2015年度達成度評価表 分野:研究

		評価	理由
中期計画	1 研究環境の整備と充実		
実行計画	(1) 研究の質と資金の効率配分に意を払いながら、研究設備・施設の充実を図る。	C	低調な進捗状況である。大学全体として、問題点、課題を抽出して解決策を検討する必要がある。
	(2) 研究費の適正使用を遵守する体制をより強化する。	C	一部の学部・研究科の取り組みは進んでいるが、大学全体のコアとなる部局の取り組みがちぐはぐであり、体制の整備を求める。
	(3) 研究所設置に向けた制度的検討を行う。	C	学部・研究科独自の研究所設置については、準備が進んではいるものの、大学としてそれに対するサポートが見られない。また、実行計画に紐づかない計画もあり、見直しが必要である。
	(4) 知的財産の創出の強化を図るとともに、その適切な管理を遂行する。	C	学部・研究科の教員の研究成果の公表は進んでいるが、大学全体の公表は遅れている。シーズ集、研究者マップ、機関リポジトリは大学としてどのように充実・展開していくのか進捗が見られない。取り組みに対する速度が遅い。
中期計画	2 多様な外部資金の獲得		
実行計画	(1) 科学研究費の申請数および獲得数の増加を目指す。	B	科研費の応募件数、採択件数が増加したことは評価できる。
	(2) 受託研究・共同研究・研究奨学寄附金の獲得、増加を目指す。	B	迅速に学部・研究科へ研究助成情報が提供できている点は評価できる。しかし、成果には結びついていないので、さらなる改善が望まれる。
	(3) 外部資金獲得に向けた支援体制を強化する。	B	学部・研究科において外部資金情報提供や申請書の書き方についての支援体制を整えている点は評価できる。
中期計画	3 学内・学外との研究連携促進		
実行計画	(1) 学部・研究科間の研究連携推進を図る。	C	学部、研究科内の研究は進んでいるが、学部等の枠組みを超えての研究連携は進んでいない。研究者マップをホームページに掲載することを進める必要がある。
	(2) 神戸医療産業都市構想等へ積極的に参画する。	B	2014年度に引き続き、医療系3学部、研究科では着実に連携を行っており評価できる。研究支援センター、社会連携部の地道な活動も評価する。
	(3) 企業、経営者団体、自治体等との産学官連携事業をより促進するとともに、共同研究の推進を図る。	B	学部・研究科によって取り組み状況が異なるが、計画を立て実施している学部・研究科は評価できる。今後も大学からの支援が必要である。

評価 S: 目標よりはるかに上回る、A: 目標をやや上回る、B: おおむね目標どおり、C: 目標をやや下回る、D: 目標をかなり下回る